

## 平成28年司法試験 合格体験記

平成27年度修了（未修コース）岸田 知子

こんにちは、10期未修の岸田知子です。

具体的なアドバイスは他の方をお願いをして、以下、私が在学中特に気をつけていたことを述べたいと思います。

### ①合格を見据えた勉強をする

司法試験はあくまでも「試験」です。高校・大学受験もそうですが、試験に受かろうと思うと、ある程度勉強の方法は決まってくるものだと思います。学ぶことは良いことですが、「試験」に受かりたいなら「試験」に受かる勉強方法をとることも必要だと思います。

### ②一度言われたことを二度言わせないように

指摘されたことで、その場でわかったつもりでも、あとから考えてみるとよくわかっておらず、結局同じミスをしてしまうことがあります。また、復習を怠ると、人間の思考回路に劇的な変化は望めないため、同じミスをして、同じ注意を受けることとなります。どちらにせよ、注意をしてくださった方に失礼です。言われたことの意味がわからなければ、その場でさっさと解消してレベルアップをする方が時間の無駄になりません。

### ③常に工夫する

私は、添削を受けた時に、ルーズリーフにメモをすると、復習のときに、どこの部分の指摘と解説だったかな…となることがありました。そこで、添削に提出する際に、縮小コピーをして、余白に直接書き込む方法をとりました。これはあくまで一例ですが、工夫は何に対しても可能です。めんどくさがりなのか、几帳面なのか、自分を把握して、自分がストレスなく勉強しやすい環境を作ることも大事だと思います。

### ④周囲への感謝を忘れない

勉強できる環境を整えてくれていること、添削をしてくださること、応援してくださること、どれも当たり前のことではありません。本番で、あの先生にあれだけお世話になったのだから、ダメなはずがないだろう、と自分を鼓舞する材料にもなります。恩を仇で返すわけにいかない、ぐらいの気持ちで勉強に向かうのは、良いかもしれません。

最後になりましたが、お世話になった先生方、本当にありがとうございました。立派な法曹になるよう、さらに頑張っていきます。